

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市子育てふれあいプラザ泉中央
2 指定管理者	一般社団法人マザー・ウイング
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》 20,204人（前年度比30.3%）</p> <p>内訳 ひろば利用者 12,159人 託児利用者 818人 中高生 5,590人 子育て支援者 879人 ホール利用 36件（758人）※視察等の利用者 325人</p> <p>平成29年度 76,320人 平成30年度 79,043人 令和元年度 66,782人</p> <p>《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供、子育てに関する相談、情報提供等、子育てを総合的に支援する事業</p>
5 収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 56,589千円 （54,581千円） ・ その他市が負担した費用 0千円 （0千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 1,734千円 （3,548千円）※託児料 ・ その他収入 209千円 （338千円）※ホール利用料 ・ その他収入 94千円 （443千円）
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見箱の設置 ・ イベント開催時に、参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し、掲示等により利用者に周知している。</p> <p>利用者アンケートの満足度も総じて高く、子育てを総合的に支援し、子育てが安心してできるまちの実現に大きく貢献している。</p>	21/21
II 施設の運営管理体制	<p>各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化されている。</p> <p>個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取組がなされている。</p>	29/29
III 施設・設備の維持管理	<p>乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で、遊具等が破損していないか、温度は適切かなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。</p>	19/19
IV サービスの質の向上	<p>各イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置など、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けている。</p> <p>職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	28/28

V 施設固有の基準	子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把握しながら、乳幼児親子の交流の場の提供（ひろば事業）や一時預かり事業、子育てに関する情報収集、提供事業などを適切に実施している。	11/11
------------------	--	-------

三 評価総括

《指定管理者（一般社団法人 マザー・ウイング）による自己評価》
<p>マザー・ウイングが培ってきた子育て家庭に寄り添う姿勢と、子育て中の親子の孤立化防止への取り組み、親子の育ちあいの促進を最大限に活かした支援を、指定管理施設に留まらず広く実施することができた。</p> <p>特に、子育て中の母親に視点を置き、子育て家庭の支援を行うことを軸に運営を行った。</p> <p>また、コロナ禍の中感染予防に努め、多くの子育て期の親子を受け入れる受け皿として機能できるよう、安全・安心な場として工夫を凝らした。</p> <p>事業の策定にあたっては従来通り、職員からのアイデアや意見を聴くことで、会議の質を高め、事業の効率化を進めていった。利用者のニーズに応えたイベントの充実、相談、情報提供等、多くの事業を、安全に満足度高く実施することができた。</p> <p>相談事業においては、今年は例年の30%程度の利用者数の中でも、昨年度に比べ相談件数の増加がみられたことは、相談への対応を丁寧に行ってきたことからだと考えられる。</p> <p>託児においては、コロナ禍での利用減が響き、事業収益の見込みが下方修正される中だったが、安全に感染対策を行いながら実施することができた。</p> <p>泉中央の大きな特徴として、子育て支援を行う方への支援活動があるが、対面とリモートを活かし、計画的に事業をすすめることができた。</p> <p>中高生事業では、大学生スタッフによるピアサポートの良さを活かした運営を行うことができた。</p> <p>ホール運営については、建物の老朽化、コロナ禍での閉館や定員制限でリピート率が下がるなど、引き続き課題が多くあると感じている。施設全体として経年劣化による修理、故障が発生してきている。利用者に快適な環境を提供できるよう今後も運営に工夫を凝らしていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、利用者懇談会やアンケート等を通じて、利用者ニーズを把握し、新たなイベントを企画実施するなど、利用者の声を的確に反映した運営を行っている。また、相談事業においては、ひろばや一時預かりの職員と、本市の委託事業の専門相談員との連携をより密にして支援を行ったことで、相談件数は開館以来最大の件数となったほか、自主事業である「ホームスタート事業」とも連携するなど、多面的な支援を行い、子育て家庭の負担軽減に大きく貢献している。</p> <p>一時預かり事業では、保護者からのヒアリングを緊密に行い、個別の配慮が必要な乳幼児の預かりを積極的に行った。</p> <p>4階プラザでの中高生事業では、利用者の主体的な活動が実現できるようサポートを行い、社会参加のために必要な資質を養う場の提供を行ったほか、新たにパンフレットを作成し、利用の促進を図った。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館となった際には、近隣の公園や地下鉄泉中央駅前等に積極的に出向き、乳幼児親子等にチラシを配るなどして子育て支援情報等の周知を図るとともに、コロナ禍で孤立しないよう声かけを行い、臨時休館中であっても気軽に電話相談等ができるような関係作りに努めた。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課